

兵庫県立大学 神戸市中央区港島地区との連携事例

自治体の課題(ニーズ)



【どこから】

神戸市中央区港島地区(人工島ポートアイランド)の地区防災対策委員会から依頼を受けての取組である。

【どんな課題】

同地区はすべての居住者がマンション居住であり自宅避難を原則とするが、人工島特有の孤立時対策を含めた実践的な防災計画の策定が喫緊の課題であった。

【参加者】

委員会、住民、中央区職員、水上消防署、港島学園の関係者等

研究成果(シーズ)の還元

港島地区防災対策委員会
マンションカルテ
(含 まねっこポイント)



ポートアイランド住宅のまねっこポイント

【実施内容例】

- ・12棟のマンションすべてに対してアンケートを実施・回収
- ・防災訓練の実施状況把握
- ・アンケートを通じて収集したデータを基に、過去の自然災害における被害、今後の懸念、取組目標と計画を整理

【活動成果】

- ・過去の知見と他者の良いところを取り入れた「まねっこポイント」として指針をまとめる
- ・しおり作成等の周知徹底、防災訓練のスタンプラリーなどの参加しやすい取り組み推進
- ・毎年の更新が重要であり、取り組みは足掛け5年に及ぶ

この連携に携わった研究者



減災復興政策研究科
澤田 雅浩 准教授

(研究者からのメッセージ)

大都市など、中高層集合住宅が多く立地するような地域では、地域防災計画上で定める指定避難所の収容能力や、建物の強靭性などを鑑み、自宅での避難を推奨するケースも増えています。一方でそのための具体的な備えはまだ途上です。地区防災計画制度を足がかりに、地域で議論し、対策を講じることは、効果的な減災対策となります。

※ 研究者の経歴等は(https://researchmap.jp/swd_nid)をご参照下さい。